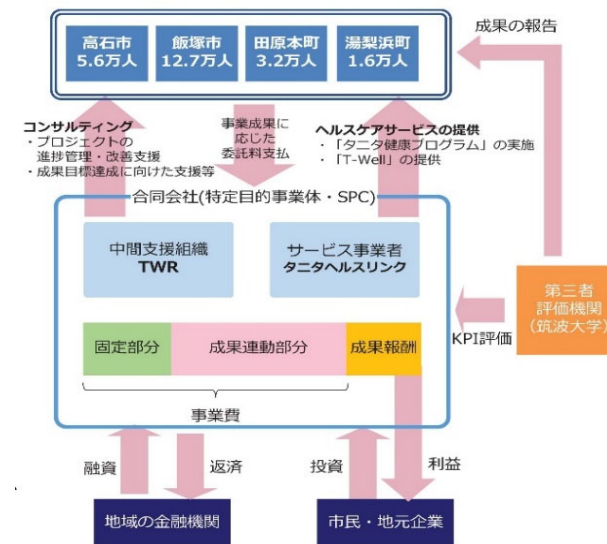


地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【飛び地自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者のすべてが生きがいを持って 過ごせるための健幸まちづくり事業】

推進当初

申請者	大阪府高石市ほか3自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,235,885千円 (282,789千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	事業を通して医療・介護にまつわる多様な課題を解決できる具体的な社会技術を開発し、その展開によって、多数の住民が100歳まで地域で役割を持って生活できるようにすることにより、各市町が抱える健康課題の改善、それに伴う社会保障制度の維持、またヘルスケア関連消費や生きがい関連消費の増大による地域経済活性への貢献など、好循環を作ることを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ソフト事業】 ○社会参加型健幸ポイント事業 ・中間支援業務 19,800千円 ・ICT活用の健幸ポイント事業の運営 111,478千円 ・事業推進に係る委託費 24,193千円 ・人材育成 2,067千円 ・指導者雇用費 49,613千円 ・消耗品・その他諸経費 16,699千円 ○4市町交流サミット事業 ・健幸フェス 6,186千円 ・交流サミット関連費 500千円 ○4市町連携リビング・ラボ事業 ・事業の運用 26,024千円 ○事業の評価 ・調査分析 25,300千円 【ハード事業】 ○社会参加型健幸ポイント事業 ・体組成計等929千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①医療費・介護給付費の抑制額 (+1,180百万円) ②健幸ポイント事業の参加者数 (+11,520人) ③80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数 (+1,830人) ④健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数 (+2,500人)		
関連URL	https://www.twr.jp/cms/wp-content/uploads/2020/11/result_4city.pdf		



※大阪府高石市、福岡県飯塚市、奈良県田原本町、鳥取県湯梨浜町の広域連携事業

申請者	大阪府、大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	276,350千円 (48,450千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・オーバーツーリズム対策と観光客消費単価の向上 ・多様化するニーズに対応した、地域資源を活かした誘客促進 ・国際交流や誘客促進を目的とした、教育旅行の活性化 ・SDGsへの取り組みの推進によるブランディング、魅力創造		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大阪・関西万博に向けた地域消費&ショーケース機能強化 ・広域連携による観光交流人口・消費向上のためのWEBサイト運用、研修開催、コンテンツの磨き上げ、コース造成 14,500千円 ・デジタルプラットフォーム（アプリ）構築 15,000千円 ○誰もが楽しめる多様性をもったまちづくり ・LGBTQ受け入れ環境整備プログラム構築、セミナー開催等8,000千円 ○観光と教育の連携による事業拡大および自立化 ・Web交流の促進、情報発信 3,500千円 ○大阪・関西万博に向けたSDGs対策 ・MICE SDGs認証制度の構築 6,500千円 ・食による交流促進セミナー開催、情報発信 950千円	 大阪から、手軽に、気軽に 全国巡りたび Forward Trip 大阪・関西万博に向けた地域消費&ショーケース機能強化事業  STUDY IN OSAKA 留学生・教育旅行事業	 IGLTA OSAKA Local Food LGBTQ事業  OSAKA Local Food サステナブル ガストロノミー ツーリズム SDGs推進事業
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大阪・関西万博に向けたショーケース機能強化事業における消費額（+2,413,300万円） ②大阪・関西万博に向けたショーケース機能強化事業における新規ビジネス件数（+77件） ③大阪・関西万博に向けたSDGs対策におけるMICE参画事業社数（+190社） ④大阪・関西万博に向けたSDGs対策における食の交流事業件数（+550件）	関連URL	https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/tihou-sousei/

事業概要【世界に伍するスタートアップ・エコシステム構築事業】

推進当初

申請者	大阪府、大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,198,135千円 (238,027千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	広域自治体である大阪府が大阪市とともに、京都府市、兵庫県・神戸市との連携、関西広域連合とも協働することで、産学官連携や地域間連携を強化し、東京や海外の先進都市に匹敵するトップクラスのスタートアップ・エコシステムの構築に取り組む。 また、本事業終了後においては、行政主導から民間主導の活動にシフトし、行政が地域・政策間連携など後方支援を担う、官民協調による自立したエコシステムとすることで、「副首都・大阪」の確立・発展に向けた新産業・イノベーションの推進、発展の環境を実現させ、まち・ひと・しごとの創生による持続的な発展を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムによる取組み推進 ・エコシステム構築に向けた専門家の招聘費及び専門家交通費等（13,250千円） ○万博開催、うめきた2期まちびらきのインパクトを活用した世界で存在感を示すための情報発信 ・万博やうめきたに向けたブランディング計画の追加（3,150千円） ・広報費、PR資料作成経費等（12,087千円） ○グローバルに活躍するスタートアップを輩出するための海外エコシステムとの接続 ・海外エコシステムとの連携（35,145千円） ・国際的ピッチイベントの開催（57,604千円） ○ユニコーン企業の候補を輩出するための成長段階に応じた切れ目のないアクセラレーションプログラム ・大阪独自のアクセラレーションプログラム（95,308千円） ・グローバル拠点都市の海外アクセラレーターの活用（21,483千円）    (出典：(公財)大阪産業局)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ユニコーン輩出件数（+3社） ②5億円以上の資金調達を行うスタートアップ件数（+35社） ③スタートアップビザ活用数（+31者）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://osaka-startup.com/ (効果検証) https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/tiho-u-sousei/

事業概要【5G等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト】

推進当初

申請者	大阪府大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	510,668千円（116,645千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	超高速・低遅延・同時多数接続の特長を有する5Gは、次世代の情報通信インフラとして、あらゆる産業分野にインパクトを与える可能性を有し、デジタル化が加速する中で、5G等の先端技術を活用したビジネスの市場拡大が見込まれる。ソフトバンク株式会社等と連携し設置した「5G X LAB OSAKA」を拠点に、中小企業等に対して、さまざまなビジネス支援を行い、新たな産業の創出及び地域経済の活性化をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	「5G X LAB OSAKA」を拠点に、中小企業やスタートアップ等に対して、さまざまな事業フェーズ（構想期・開発期・実証期・事業化期）に応じた支援を行い、5G等先端技術を活用したビジネスの創出をめざす。 大阪産業局事業交付金 116,645千円 ○プロジェクト組成事業 ○開発補助 ○実証実験支援 ○導入トライアル補助		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 5G等の先端技術を活用したビジネス創出件数 （+22件） ② 5G関連プロジェクトの創出件数 （+37件） ③ 5G等の先端技術を活用した実証実験支援件数 （+59件）	関連URL	https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000522389.html



申請者	大阪府堺市、大阪府	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,000千円 (34,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・泉北ニュータウン地域におけるウェルビーイングの向上（LWC、堺市独自アンケートで定量把握を行う） ・例えばヘルスケア（健康増進、見守り）のような行政課題に対し、コンソーシアムメンバーを中心に民間、大学、行政がそれぞれのノウハウを出し合い、最適な課題解決策を見出し、市民のウェルビーイングの向上を目指す。 ・上記解決策、施策の効果検証をスモール実証でPDCAを回し、最終的には市民のための社会実装を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【泉北スマートシティコンソーシアム支援事業】負担金:14,000千円 泉北ニュータウン地域を実証フィールドとして、先進的取り組みであるAIオンデマンドバスやヘルスケア領域の高齢者見守り、睡眠改善コンサル事業の実施。 【都市OS構築・運用事業】負担金:20,000千円 大阪府都市OSにおいて市町村共同ポータルサイトなどの立上。 コンソーシアムで開発するアプリとのID連携。 1. 内容 毎日の歩数計測(1,000歩で1pt)や体重の入力(1日1pt)等で貯めたポイントをオンデマンドバスの運賃として利用できます。 2. 利用方法 (1) オンデマンドバスの使用可能ポイント数は300ポイントです。 (2) 車内乗務員横の運賃箱に設置しているQRコードを読み取り、ポイントを使用してください。※運賃の一部をポイントで支払うことはできません。 3. 利用イメージ へるすまーと泉北 Android用 iPhone用		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業拠点進出数（+13件） ②新規雇用者数（+65人） ③実証プロジェクトの数（+95件）	関連URL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/qyosei/shishin/shisei/senryaku/75027220210402131206568.html

事業概要【「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業】

推進当初

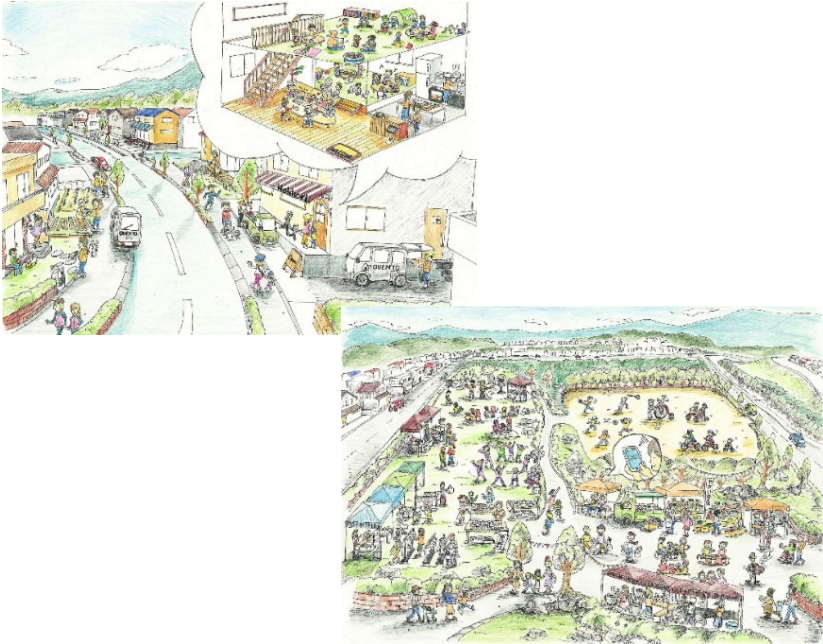
申請者	大阪府貝塚市ほか17自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,783,556千円（726,882千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	単独では実現の困難な著名人の招致や民間事業者から参画を得やすいポータルプラットフォームの構築を実現、大都市圏に向けた情報発信。各事業関連資源のブランド化・再構築を図り、SNS等に向けたコンテンツ化を推進することにより、地域資源をデジタル情報価値のある魅力的なものに高め、観光振興による交流人口の増加に加え、関係人口の増加を図り、移住・定住による地方への人の流れを生み出すことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 市町村連携ポータルプラットフォーム共同基盤事業費【90,000千円】 ○広域市町村連携シティプロモーション事業 市町村の連携シティプロモーション事業費【396,710千円】 ・『国内外のメディア・大使館・観光局との連携構築』事業費/広報費、委託費等 ○地域産業拡大事業 市町村の連携地域ブランド・産業拡大事業費【131,950千円】 ・『各国の観光局・海外事業者と連携、販路開拓』事業費/試作・実証費、市場調査費、販路拡大費、委託費等 ○情報ネットワーク・地域活性化事業 市町村の連携デジタル活用・地域活性化事業費【108,222千円】 ・ICTを活用した配信・啓発・連携事業費/SNSメディア制作配信費、AR動画配信事業費、委託費等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込数（+22,155,000人） ②ポータルプラットフォームへの投稿数（+5,130件） ③メディア掲載数（+2,052件）	関連URL	○大阪府貝塚市ほか17自治体 HP ○総集サイトは 令和6年7月公表予定



※大阪府貝塚市、北海道七飯町、岩手県花巻市、山形県村山市、福島県田村市、石川県白山市、長野県須坂市、岐阜県山県市、静岡県西伊豆町、愛知県豊根村、大阪府泉南市、兵庫県朝来市、徳島県阿南市、高知県室戸市、福岡県小郡市、佐賀県基山町、熊本県阿蘇市及び大分県豊後高田市の広域連携事業

事業概要【けいはんな学研区域（田原地域）における、自動運転車を起点とした地域主体のまちづくり】

推進当初

申請者	大阪府四條畷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	134,480千円（29,645千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	第6次四條畷市総合計画では、2050年のまちの将来像を「自然と歴史をいつくしみ・やすらぎ・ぬくもり・にぎわいをそだてよう、みんなの夢をつくるまち四條畷～すべては住みよいまちづくりのために～」をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○低速型自動運転車運行 乗降ポイント案内標識（原材料費） 112千円 ○物流生産性向上の為に継続した対話 物流生産性向上に向けた協議費用（役務費） 10千円 ○未利用地及び公共空地の有効活用協議事業 （1）基本方針・基本構想策定業務（委託料） 27,500千円 （2）賑わい創出に向けたイベント実証（委託費） 1,000千円 （3）有効活用利用協議会事務用品（消耗品費） 50千円 ○フォーラム・地域イベント支援事業 （1）実装イベント費用（報償費・謝礼） 300千円 （2）3年間の歩みの展示等（消耗品費） 50千円 （3）自動運転等の普及啓発（印本、役務費） 395千円 （4）市民提案型イベント（報償費 謝礼） 80千円 ○地域の人づくり研修 （1）体験学習費（報償費 謝礼） 50千円 （2）教室開催費用（需用費） 10千円 （3）自動運転等オペレータ研修費用（委託） 470千円 （4）低速電気自動車保守事業者養成費用（委託） 70千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①田原地域内における新たなサービスや事業者の新規創業数及び事業敷地等拡大事業者数（+5団体） ②田原地域における社会増減人口0人以上（+0人） ③市ホームページにおける田原管内が所管する記事へのアクセス数（+2,700件） ④新たな低速型自動運転車の利用人数（+955人）	関連URL	https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/33/33941.html

事業概要【持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業】

推進当初

申請者	大阪府	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	88,284千円 (29,486千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	府内企業や大学生等の学生に対してセミナーや交流会、職場体験プログラム等の様々な支援施策を打ち出すことにより、以下の①②を推進し、持続可能な社会の実現をめざす ①府内企業のワークライフバランスやダイバーシティへの理解促進 ②就職困難性の高い学生への支援		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業のダイバーシティの理解促進 ・HP・SNS作成・運営費 2,500千円 ・企業向けセミナー費 6,880千円 ・企業向けイベント費（合同企業説明会等） 6,600千円 ・職場体験実施費 1,500千円 ・ネットワーキング構築費 2,020千円 ○就職困難性のある若者の自立支援 ・HP・SNS作成・運営費 550千円 ・就職困難性のある若者・保護者向けセミナー費 6,130千円 ○就職困難性の高い学生のキャリア支援に関する大学等教職員向けセミナー 132千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業のダイバーシティの理解促進事業の参加企業のうち、ダイバーシティ経営に取組む（取組む予定）企業数（+750社） ②企業のダイバーシティの理解促進事業の参加企業数（+1,380社） ③企業のダイバーシティの理解促進事業の参加企業が正社員採用した人数（+900人） ④就職困難性のある学生の自立支援事業に参加した学生数（+6,320人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://osaka-diversity.com/ （効果検証） https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/tihou-sousei/

事業概要【地域の生産性向上に向けた地域産業重層化促進事業】

推進当初

申請者	大阪府堺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	93,361千円 (31,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	豊かな地域経済の未来を切り拓くために、イノベーションを創出し、既存産業の厚みをベースに雇用などの地域経済の基盤を守り、新たな社会課題への挑戦を通じて産業の可能性を引き出し、地域活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○イノベーション創出促進事業 10,000千円 ・ビジネス探索、マッチング機会等事業委託費用 ・オンラインメディア等による全国へ発信する広告料 等 ○サービス産業生産性向上促進事業 15,580千円 ・サービス事業者へのアウトリーチ及び経営支援 ・産業DX支援センター運営にかかる費用 等 ○地域コミュニティ等を活用した女性就労支援 4,800千円 ・地域コミュニティ等を活用した就労意欲喚起支援 ・女性就労モデル事業 等 ○女性のための面接会（会場借上、設営） 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イノベーション創出につながる事業数（+60事業） ②イノベーションのロールモデル創出件数（+30件） ③市内サービス事業者への経営支援件数（+1,050件） ④女性の就業率（+5.20%）	関連URL	https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/sogyo/innovation/mirai-proj.html https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/other/service_shien.html https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/wanttowork/zyosei/index.html



事業概要【ものづくり企業と工業系の学生を繋ぐインターンシップ「もりクルート事業」

推進当初

申請者	大阪府守口市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,625千円 (11,623千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	ものづくり企業への定期的な人材の流入を促し、後継者の確保や技術承継を促進することで、ものづくり企業が社会状況の変化による課題に対応しながら、持続可能な形で事業を継続できる環境を確立する。特に、工業系の若手人材が、本市のものづくり企業に対して関心を持つとともに、ものづくり企業の事業内容や職場環境についての理解を深めることで、実際に就職活動を行う際、本市のものづくり企業が、第一志望となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	工業系の若手人材が、本市のものづくり企業を知り、就職意向が高まる契機となる機会を創出するため、以下の事業を実施する。 ①インターンシップ事業 0千円 ②企業訪問バスツアー事業 568千円 ③ものづくり企業紹介リーフレット作成事業 1,610千円 ④SNS等のデジタルツールによる情報発信事業 0千円 ⑤工業活性化支援補助金の補助メニューを新たに創設（職場環境改善事業及び人材育成支援事業） 1,950千円 ⑥ものづくり企業PR冊子『極の守2』の作成 7,495千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①もりクルート事業の実施効果による市内ものづくり企業への就職者数 (+4人) ②もりクルート事業の参加者のうち、地域のものづくり企業へ就職を希望する人数の割合 (+60%) ③もりクルート事業の参加者のうち、事業に満足と回答した人数の割合 (+80%) ④もりクルート事業の参加学生数 (+20人)	関連URL	https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/shiminseikatsubu/chiikishinkoka/sangyoshin kokigyoshien/jigyousyasien/3357.html

推進当初

12

事業概要【「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業】

推進当初

申請者	大阪府泉佐野市ほか13自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,678,284千円（759,202千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	市町村の広域連携により、大都市圏の人々との「接点の拡大」、リアル・非リアルを通して「地方志向者との関係の深化」を図り、事業のDX化による「中間支援組織」の業務負担軽減などにより、持続的かつ自走可能な関係人口拡大事業の実施につなげる。また観光振興等による「交流人口の拡大」を通して関係人口の増加を図り、地域内の各産業の「担い手となる人々の拡大」、若者やファミリー層の「移住・定住」につなげ、地方への人の流れを生み出すことができる将来像を目指す。		
事業概要・ 主な経費	事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費 ○バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業 市町村連携バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業費【70,000千円】 ・共同仮想シティポータルサイト運営費・アクティビティ運営費 等 ○観光交流促進強化連携事業 市町村の観光交流促進強化連携事業費【423,004千円】 ・地域の周遊促進と全国規模の連携による回遊促進推進事業費 ・ICTを活用しSNS等による情報発信のためのデジタル事業費 等 ○若者・子育て世代交流促進事業 市町村の若者・子育て世代交流促進事業費【126,421千円】 ・連携市町村との共同体験・交流機会の促進強化事業費 ・連携市町村の魅力を伝えるICTを活用したアプローチ事業費 等 ○関係人口の創出拡大事業 市町村の関係人口の創出拡大事業費【139,777千円】 ・地域産業の活性化・ブランド化・地域資源の魅力発信事業費 ・大都市居住者との接点構築事業費 等		
KPI	①観光入込数（+13,750,000人） ②仮想市民登録数（+16,100件） ③地方志向者の魅力度数（+15%）	関連URL	○大阪府泉佐野市ほか13自治体 HP ○総集サイトは 令和6年7月公表予定

※大阪府泉佐野市、北海道七飯町、栃木県野木町、栃木県那須町、群馬県上野村、群馬県川場村、長野県須坂市、岐阜県山県市、大阪府貝塚市、大阪府泉南市、広島県神石高原町、高知県室戸市、高知県黒潮町及び大分県豊後高田市の広域連携事業

13

事業概要【eスポーツMICEコンテンツ実証事業】

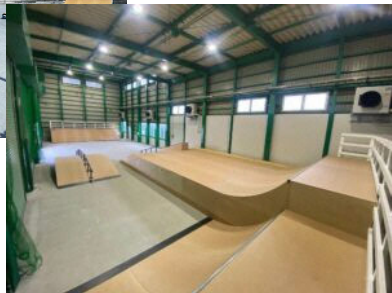
推進当初

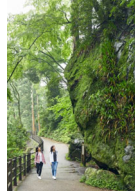
申請者	大阪府泉佐野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	666,700千円（140,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	広域交通体系が充実しているにも関わらず、通過都市となっている現状において、市域における人々の交流の増加・深化のための糸口となる新たな都市魅力の創造・発信が課題となっています。この地域課題に対して、eスポーツを通じて人々に交流の機会を提供するほか、これを通じた人材育成等の取組みによって、交流の増加・深化を図り、定めた将来像に繋げるものです。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	交流人口及び関係人口創出・深化の糸口となる都市魅力創造に繋がる新たなコンテンツとして、eスポーツの取組みを実証として実施します。 ① eスポーツの認知・理解促進のための施設運営 58,350千円 ② 大会・イベント等の継続実施に向けた準備 80,000千円 ③ アウトリーチに係る備品購入費 1,650千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口（+470人） ②交流人口（+46,000人） ③eスポーツ・イベントの開催数（+97回）	関連URL	https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seicyou/omotenasi/menu/10074.html



事業概要【スケートボードパークを核としたまちづくり事業】

推進当初

申請者	大阪府松原市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,000千円（70,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・市内のこども・若者世代に対するシビックプライドの醸成 ・市外からの認知度向上及び流入促進 ・関連産業の発展及び就労機会の拡充 ・スケボーのまちづくりに向けた“オール松原”による持続可能な推進体制の構築		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○トップボーダー育成プロジェクト ・トップ選手のニーズを踏まえた環境定義 7,500千円 ・デジタル技術の活用 15,000千円 ・教育機関やスポーツ団体との連携 7,500千円 ○産業振興プロジェクト ・関連産業における事業創出 10,000千円 ・ファッション等周辺産業の開拓・誘致 10,000千円 ○スケートボードパーク運営体制の決定および資金調達手法の検討 ・スケートボードパーク運営体制および財源確保方策を設定し、ステークホルダーとの調整や官民連携組織化（法人化）を見据えた座組を構築 20,000千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20歳から39歳までの人口区分における本市転入超過人数（+60人） ②観光入込客数（+4,100人） ③スケートボードパーク年間利用者数（+8,200人） ④スポーツ関連産業企業数（+1社）	関連URL	https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/page18524.html

申請者	大阪府箕面市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	123,726千円 (61,460千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・2大観光地を結ぶ二次交通の充足により、観光客の市内回遊性向上及び紅葉期に生じる交通渋滞解消を図る。 ・情報発信力の強化と来訪者が市の魅力を体感できるよう、散策しながら市の歴史や文化に触れるなど着地型観光の推進を図る。 ・AR技術の活用による魅力の体感と周遊や飲食等を通じた高い満足感を提供することで、市内消費の活性化を図る。 ・長期的には、箕面を体感することで抱いた好印象や満足感により居住選択の機会に箕面を想起してもらい、定住促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【広域周遊観光に向けたデジタルコンテンツの開発・PR事業】 ○公共交通機関の利用による通年集客、箕面市を含む北摂地域の回遊性向上を目的とした広域周遊デジタルスタンプラリー実施 ・ルート開発・チラシ作成等 (委託料) 1,000千円 ○通年集客・回遊性向上を目的としたデジタル情報プラットフォームの構築 ・サイト構築等 (委託料) 11,813千円 ○自然資源を活用した通年・広域観光ルートの登録 ・ジャパンエコトラック登録料等 (手数料) 1,694千円 ○上記デジタルコンテンツのPRイベント ・PRイベント実施委託 (委託料) 1,100千円 【遠方から来阪する新大阪駅利用者を取り込むための北大阪急行利用者向けバス運行試行実施とPR及びルート・時間帯等検証委託】 ○周遊バスの実証運行及び広報PR ・運行委託等 (委託料) 45,853千円 広域周遊観光に向けたデジタルコンテンツの開発・PR事業  情報プラットフォーム (イメージ)  ARアプリ、 広域デジタルスタンプラリー  自然資源を活用した広域観光 ルート バス運行試行実施とPR及びルート・時間帯等検証委託  箕面滝道 ワンウェイ観光 周遊バス  GO!!GO!! Minoh!! ワンウェイ観光周遊バス 実証運行		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①試行運行するバスへの乗車により「勝尾寺」「箕面大滝」の2箇所を周遊観光した人数 (+15,400人) ②リリース観光マップ目的地検索ランキングにおける公共交通機関の検索数 (+960回) ③ARデジタルコンテンツ利用回数 (+7,000回) ④観光消費額 (+2,018,000千円) 関連URL https://www.city.minoh.lg.jp/eigyou/chihousousei/suishinkentoukai.html		

事業概要【広域型サイクルツーリズムを活用したまちづくり事業】

推進当初

申請者	大阪府岬町、兵庫県洲本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	190,565千円（75,667千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・大阪湾の南に位置する深日港と洲本港間を結ぶことで、新たな広域観光ルートを形成する。 ・本ルートをサイクリングでの利活用を促進し、大阪湾を横断する広域サイクルツーリズムを推進する。 ・大阪湾を循環する新しい人の流れを観光ビジネスへ波及させるため、滞在型・着地型観光プログラムを造成する。 ・滞在型・着地型観光への転換を図るとともに、次世代の担い手を育成することで稼げる地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○商業施設等と提携した滞在型・着地型観光プログラム造成と、観光ビジネスにおける担い手の育成 ・滞在型・着地型観光プログラムの造成・販売費用（委託料）3,630千円 ・観光ガイド育成費用（委託料）446千円 ○海上交通による大阪湾南回り広域観光ルートの形成 ・海上交通の運航委託（委託料）57,491千円 ・海上交通の運航管理業務等委託（委託料）9,010千円 ・広域観光ルートの広報費（委託料）1,600千円 ・港湾施設等の借上料（使用料）3,156千円 ○大阪湾南回り広域観光ルートの利用者層拡大を図るための初心者向けサイクリングツアーや体験イベントの開催 ・サイクリングツアー、体験イベント開催費（委託料）334千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①滞在型・着地型観光プログラム利用者数（+600人） ②滞在型・着地型観光プログラム造成数（+13件） ③観光ガイド登録者数（+20人） ④サイクリング促進イベント参加者数（+140人）		関連URL https://www.town.misaki.osaka.jp/soshiki/matidukuri/kikaku/mati-hitosigoto/2559.html

事業概要【大阪・関西万博を契機としたDX活用による効果的な情報発信及び

推進当初

周遊促進による関西の文化観光推進事業】

申請者	関西広域連合	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	218,850千円 (99,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	- 文化資源情報を一元的に検索できるポータルサイトや、A Iを活用した個人の好みに応じた観光ルートを提案する仕組みを構築することにより、関西全体の広域観光につなげる。 - 関西の文化施設を巡るデジタルパスポートの仕組みを構築し、関西での広域観光を誘導する。 - 大阪・関西万博に向けて関西W E Bパビリオンを設置し、関西各地の魅力を発信する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○文化観光情報の一元的発信 - ポータルサイトの作成 (負担金) 8,000千円 ○関西デジタルパスポートの発行 - 関西デジタルパスポートの発行、広報等 (負担金) 10,000千円 ○「関西W E Bパビリオン」の設置・運営に係る経費 - リアルな関西パビリオンと連動したコンテンツの追加等 (委託料) 40,000千円 ○関西各地への周遊を促進する戦略的な文化観光プロモーション活動 - アート作品の展示や関西企業と芸術家による実用性の高いアイテムの制作・展示等 (負担金) 41,600千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 関西における宿泊施設の客室稼働率の平均 (+32.8%) ② ポータルサイトのP V (+1,090,000PV) ③ 関西に訪れたいと考える訪日検討層の意向 (+50%) ④ 関西デジタルパスポート利用件数 (+10,000件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://future.kouiki-kansai.jp/ https://www.the-kansai-guide.com/ja/cultural-expedition/ (効果検証) https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/keikaku/kouikikeikakutousuishin/index.html

事業概要【交流・共創によるイノベーション・コミュニティ形成事業】

推進当初

申請者	大阪府堺市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,636千円 (27,112千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・起業家・事業家・学生やその支援者等が集まり、交流・共創を生む場所・プラットフォームを作る ・ナレッジ獲得のイベント、交流促進イベントや交流拠点の周知が進み、堺・中百舌鳥に集まる関係人口が増える ・起業や事業成長につながるプログラムや堺・中百舌鳥のネットワークに参加する交流人口が増える ・イノベーション創出につながるコミュニティが確立し、堺発・中百舌鳥発の事例が絶え間なく生み出される。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○交流拠点の開設・運営とイノベーション創出の優良事例を発信する取組も実施。 (1) コミュニティマネージャーの配置 (2名) 13,200千円 (2) 交流拠点の入退室管理システム 1,800千円 (3) 交流拠点の認知度向上、優良事例の発信 4,600千円 ○交流拠点の利用者と市内外のステークホルダーとの交流・共創を促すプログラムや若者・学生向けのアントレプレナーシップマインド醸成のプログラムを実施。 (4) 交流・共創を促すプログラムの企画運営 3,600千円 (5) 潜在層対象のアントレマインド育成プログラム 1,800千円 ○リアルでの交流・共創に加え、オンラインでのプラットフォームも構築することで、地域のイノベーション創出につなげる。 (6) オンラインコミュニティ運営 2,112千円  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イノベーション創出につながる事業数 (+75件) ②交流・共創によるマッチング数 (+150件) ③交流・共創につながるコンテンツ提供数 (+96件) ④コミュニティに新規参加する事業者数 (+300者)	関連URL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/nakamozu-innovation/index.html

事業概要【都市型ツーリズムを活用した「将棋のまち 高槻」推進事業】

推進当初

申請者	大阪府高槻市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	219,124千円 (77,430千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	将棋をはじめとした本市が誇る歴史資産などの地域資源を、まちが一体となって磨き上げ、全国から継続的な来訪者の誘引を図る都市型ツーリズムを開発・実施することによって、「将棋のまち 高槻」という都市ブランドの確立と交流人口・関係人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○将棋文化振興事業 ・棋士学校派遣事業 730千円 ・広報誌への詰将棋掲載 400千円 ・高槻将棋まつり開催 20,000千円 ○都市型ツーリズム開発事業 ・将棋ツーリズム等の企画・本格実施 25,000千円 ○シティセールス事業 ・プロモーション企画・実施 20,000千円 ・主要鉄道駅での「将棋のまち 高槻」及び都市型ツーリズムのPR、イベント企画・実施 6,500千円 ・「将棋のまち 高槻」広告費 4,800千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①GPSの位置情報分析による市外来訪者数 (+15,000人) ②観光入込客数 (+6,000人) ③「将棋のまち高槻」の認知度 (+15%) ④街がにぎわっていると感じる市民の割合 (+6%)	関連URL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/site/shingikai/list19-71.html



事業概要【2025年大阪・関西万博を契機とした「観光コンテンツ整備」事業】

推進当初

申請者	大阪府八尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,974千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「人が訪れたいまち」を目指し、国内外からの来訪者が市内各所を訪れ、交流人口が増加する。 ・本市の様々な魅力ある地域資源に触れる人たちがまちがにぎわい、地域経済が活性化し、市民・事業者などの活動が活発になり活気にあふれるまちにする。 ・様々な地域資源に関連する素材を活用した観光コンテンツの開発により、郷土愛が育まれたまちにする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 「観光コンテンツ整備」事業【15,000千円】 (1) コンテンツ情報発信委託費【①13,000千円】 オンライン体験型観光コンテンツ「やったらおもしろい八尾」の周知を広域的、効果的に行う。 (2) 体験型観光プラン誘客委託費【②2,000千円】 体験型観光プランの試験的な実施を行う。 2. 「八尾の歴史体験」事業【3,000千円】 (1) コンテンツ情報発信委託費【①に含む】 (2) 由義寺跡美装化委託費【2,500千円】 (3) 由義寺跡花き装飾委託費【500千円】 由義寺跡における地域の市民団体とコラボした体験イベントを開催するため、史跡内の美装化及び花き装飾業務を行う。	観光コンテンツ整備  八尾の歴史体験 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大阪府外から本市への来訪者数 (+34,746人) ②本事業を経て企画した体験型観光プランの参加者数 (+500人) ③本市で撮影された映画等に参加したエキストラ数 (+30人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.yao.osaka.jp/0000074016.html (効果検証) 令和6年8月公表予定

申請者	大阪府河内長野市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,200千円 (21,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	デジタル技術を活用することで、地域コミュニティが活性化され、多くの市民が地域のまちづくり活動に主体的に参画するとともに、担い手である市民党と行政とが、まちづくりの方向性を共有し、相互理解に基づく多様な主体による「協働によるまちづくり」を目指すとともに、市民の本市に対する誇りや愛着、市内外からの認知度や好感度を高め、本市が「選ばれる都市」となることを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業1 デジタル技術を活用した新たなコミュニティの創出事業 若い世代を含む現役世代の地域コミュニティへの参画率をあげるため、メタバースやオンラインプラットフォームを用いたコミュニティの創出、コミュニケーションシステムの運用を実施。あわせて、高齢者向けデジタルデバйд解消を目指す。 ・オンラインコミュニケーションプラットフォーム環境整備（委託料） 3,500千円 ・オンライン、オフラインのコミュニティ連携支援（委託料） 8,000千円 ・地域活動活性化を目的としたデジタルデバйд解消（委託料） 2,000千円 事業2 主体的な地域活動への参加を促すシビックプライドの醸成 河内長野市のイメージ転換・魅力発信によりシビックプライドを醸成するとともに、明確化された河内長野ブランド理念をもとに行政・市民・関係人口が同じ方向性で主体的にまちづくりに参加する環境を作る。 ・河内長野市ブランディング（委託料） 7,800千円 オンラインコミュニケーションプラットフォーム  メタバース(イメージ図) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①オンラインコミュニケーションプラットフォームの登録者数（+1,500人） ②30代以下のまちづくり活動への参加状況（年1回以上）の割合（+1.8%） ③市民同士の連携や市民と行政の協働に関する市民満足度（+5.2%） ④「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合（+6.6%） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kawachinagan.o.lg.jp/soshiki/30/93297.html （効果検証） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/30/16911.html		

申請者	大阪府大東市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,401千円 (20,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・大東を知ってもらい認知度を向上させる ・観光客など、大東を訪れる人を増やす ・大東市内で消費活動をする人を増やし、産業・商業の活性化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○認知度の向上（知ってもらう） ・三好長慶及び飯盛城PRにかかる他市連携：380千円 ・PRツール等制作：1,190千円 ・ブース・フェス出展：1,241千円 ○観光客の増加（訪れる人を増やす） ・飯盛城跡バーチャル体験コンテンツ制作：1,191千円 ・大東市の魅力を活かした観光ガイドツアー：380千円 ・周遊型謎解きイベント：3,883千円 ○商業・産業の活性化（消費する） ・周遊コンテンツや商品・体験プログラムの開発等：6,985千円 ○検証 ・市民意識調査・イメージ調査：5,000千円	  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ブース出展にかかる来訪者数（+890人） ②デジタルスタンプラリーの参加者数（+292人） ③新商品の開発数（+15個） ④デジタルスタンプラリーによる来客数（+185人）	関連URL	https://www.city.daito.lg.jp/soshiki/74/48417.html

事業概要【オール門真による「ものづくり」ブランディング事業】

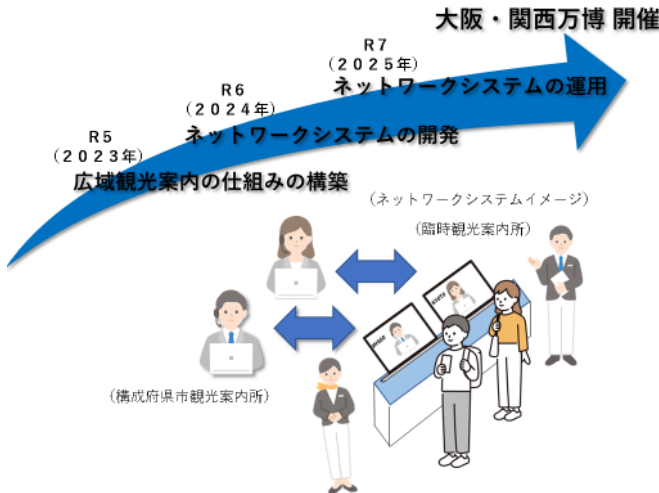
推進当初

申請者	大阪府門真市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,563千円 (23,287千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本市の基盤産業である多様な「製造業」の活性化、特に域外からの受注・域内受発注の連携、高付加価値型企業への転換、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、域内所得及び雇用者数の増加につなげ、域内経済の好循環による経済成長、関係人口の増加を目指す。また、企業の利益率向上により、賃金所得が増加することで、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①製造業としての「門真ブランド」の発信事業 ○機械要素技術展大阪への出展 ・展示会業務委託 (9,747千円) ・展示会会場借上料 (7,700千円) ②「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 ○労働環境の向上の取組みに対する補助金 (3,600千円) ○企業の魅力向上・発信の取組みに対する補助金 (1,700千円) ○カーボンニュートラル推進に資する取組等に対する補助金 (200千円) ③「オール門真」での連携支援体制の構築事業 ○門真市ものづくり産業振興懇話会委員報酬 336千円 ○開催通知等通信運搬費 4千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額 (+96,154千円) ②支援を実施した事業所における従業者増加数 (+126人) ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数 (+64人) ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数 (+522人)	関連URL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/25027.html (機械要素技術展 大阪) https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/24357.html (企業魅力アップ事業補助金) https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/25502.html (ものづくり産業振興懇話会) https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/monodukurikonwakai/30463.html (ものづくり産業振興計画)



申請者	大阪府東大阪市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,734千円（44,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・東大阪市の製造業が旧態依然としたものではなく、未来社会をけん引する存在であることを世界に発信する。 ・万博に参画する市内企業の自社PR力強化を図る。 ・東大阪市のモノづくりのまちであることの認知と評価を高め、市内で働く人材を呼び込み定住人口増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○万博参画企業の情報収集及び効果的なプロモーションの実施 （委託料）13,150千円 ○大阪ヘルスケアパビリオン展示・出展ゾーンに出展する企業を支援 ・出展料補助金 6,250千円 ・製品開発支援補助金 25,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援を受けた企業の売上高増加率（+20%） ②新製品開発に取り組んだ企業数（+25社） ③支援を受け、業績が向上した企業数（+28社）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://higashiosaka-expo2025.jp/

申請者	大阪府島本町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	27,164千円 (7,854千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・町内の消費活動を誘発する事業を複数実施し、町内の経済循環を向上させる ・消費喚起につながる交流事業の開発、創業支援、特色ある商品開発の実施 ・アナログ媒体とデジタル媒体を組み合わせた、上質なタウンプロモーションの強化 ・にぎわいや活気づくりの拠点創出 ・外部専門家による支援を受けて、関係者の体制強化		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業詳細①消費喚起につながる体験プログラムの開発、創業支援、商品開発の実施】 (1) 体験プログラム開発における民間団体支援補助金 : 715千円 (2) 創業支援事業 : 2,000千円 (3) 特色ある商品開発事業 : 0千円 (※R6は予算措置なし) 【事業詳細②アナログ媒体とデジタル媒体を組み合わせた、上質なタウンプロモーションの強化】 (1) タウンプロモーション事業 : 4,062千円 【事業詳細③にぎわいや活気づくりの拠点創出】 (1) キャンプ場跡地活用事業 : 0千円 (※R6は予算措置なし) (2) 島本町歴史文化資料館活用事業 : 0千円 (※R6は町単費にて実施) 【事業詳細④外部専門家による支援を受けて、関係者の体制強化】 (1) 専門家事業支援 : 1,077千円 事業詳細②タウンプロモーション展開イメージ  ブックレット「島本と。」  島本町HP アナログ媒体をWEBでもPRし、上質なタウンプロモーションを図る		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①資本金等の額 1 千万円以下及び従業者数50人以下の均等割と法人税割を納める法人の数 (+ 15法人) ②ふるさと納税の出店数 (+ 8 店) ③新聞掲載件数 (+ 260件) ④ランディングページ年間ページビュー数 (+ 4,700PV)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.town.shimamoto.lg.jp/site/kaigi-kaisainittei-shingikai/20627.html

申請者	関西広域連合	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,000千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	関西広域連合域内の観光案内所をネットワークで結ぶことにより、的確できめ細やかな広域観光情報を旅行者に旅ナカで提供することを通じて、広域観光圏としての「関西」を形成し、「関西」の認知度向上、域内の周遊など広域観光の促進を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光案内所の機能強化による広域観光案内の仕組みの構築 ア 観光案内所の機能強化 - 観光案内所のネットワークシステムの開発 (負担金)13,000千円 - 各観光案内所の相互連携強化の研修会 (負担金)1,000千円 イ 「The KANSAI Guide」における旅ナカ情報の発信 - 外部のサイトとの連携に係るシステム開発 (負担金)4,000千円 - APIエンジンシステム開発 (負担金)6,000千円 ○観光人材の対応力の強化 (観光人材向け研修会) 0千円	 大阪・関西万博 開催 R7 (2025年) ネットワークシステムの運用 R6 (2024年) ネットワークシステムの開発 R5 (2023年) 広域観光案内の仕組みの構築 (ネットワークシステムイメージ) (臨時観光案内所) (構成府県市観光案内所)	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関西における外国人延べ宿泊者の増加 (+644,607人) ②関西における訪日外国人の推計訪問者数の府県間の差の減少 (▲3,663,930人) ③「The KANSAI Guide」PV数の増加 (+530,000PV)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/keikaku/kouikikeikakutousuishin/index.html

事業概要【2025大阪・関西万博への関西パビリオン出展事業】

推進当初

申請者	関西広域連合	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	439,000千円 (200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・万博を訪れた人々が実際に現地に訪れたいような仕掛けを行い、万博会場から関西各地への誘客を図る。 ・万博会場から関西各地を結ぶMaaSを開発・運用し、スムーズな関西各地への誘客を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○運営委託費 ・PVの運営に必要な人材の確保・訓練、備品調達等 (委託料) 60,500千円 ○展示制作費 ・展示コンテンツの作成、展示物の調達、展示装飾等 (委託料) 137,000千円 ○関西PV及びMaaSに関するセミナー実施 ・専門家によるセミナー等を実施し、関西PVを地方創生に活かす方法を学ぶ (会場料等) 1,000千円 ○機運醸成のためのイベント ・講師によるトークセッション等を実施し、機運醸成を図る (会場料等) 1,000千円 ○関係団体等との連絡会議等 ・関西PVへの参加府県間で連携を取るべき案件の調整等 (会場料等) 500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 関西域での1ヶ月の宿泊者数 (+2,158,000人) ② 関西パビリオンの集客数 (+2,000,500人) ③ 関西パビリオン訪問客のうち満足度が高かったものの割合 (+90%) ④ 関西パビリオン紹介HPでの応援コメント数 (+10,900件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/keikaku/kouikikeikakutousuishin/index.html

事業概要【「次世代スマートヘルスシティ大阪」の実現（次世代スマートヘルス分野のスタートアップ・支援機能の確保）プロジェクト】

推進当初

申請者	大阪府	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	160,307千円（60,307千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・大阪という地方の創生を図るため、府民の自発的な健康づくりを促進する効果の高い治療・予防アプリ等の「デジタルヘルス分野を専門領域とする支援機関」を確保。治療・予防アプリ等の社会実装支援等を展開。 ・これにより、大阪における「デジタルヘルス分野のスタートアップ・エコシステム」を確立させるとともに、治療・予防アプリ等を活用した健康づくり人口を増加させ、府民QOLの向上を図る「次世代スマートヘルスシティ大阪」を実現。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルヘルス分野を専門領域とするスタートアップ支援機関の確保 ・プロポーザル公募の実施に係る必要経費 307千円 ・ナレッジ蓄積・戦略化、エコシステム等のハブ機能に係る人件費（委託料）16,817千円 ○デジタルヘルス分野のスタートアップの社会実装を中心とした伴走支援 ・伴走支援を担うコンサルタントチームに係る人件費（委託料）31,421千円 ○治療・予防アプリ等のデジタルヘルスに係るマーケットプレイスの展開 ・デジタルヘルスマーケットプレイスの構築・運用に係る経費（委託料）5,005千円 ・上記取組みの効果を極大化するためのPR経費（委託料）6,757千円	次世代スマートヘルス・ ランドテーブル大阪 デジタルヘルス ファンド大阪 相互連携 有 望 ス タ ー ト ア ッ プ の 情 報 成長 支 援 投 資 に よ る 【スタートアップ発掘】 治療・予防アプリ等を 開発するスタートアップを 発掘、状況等に応じた サポートプランの策定等 【社会実装支援】 治療・予防アプリ等の主な ターゲットである 健康経営優良法人等との マッチング等を支援 好循環の 創出 エコシ ス テ ム の 確 立 【多様な価値の創出を促した社会実装機会の拡大】 ・ジャパンヘルス等において、治療・予防ア プリ等を展示等 ・医療機関等を対象としたイベント実施により、 社会実装機会を拡大 次世代スマートヘルスシティ大阪が実現（以下の①～③の好循環が生まれる） ① デジタルヘルス分野に専門特化した支援環境の確保により、当該分野のスタートアップが大阪に集積 ② デジタルヘルス分野のスタートアップが開発する治療・予防アプリ等の社会実装が進展 ③ 治療・予防アプリ等の利用により、府民の自発的な健康づくりが広がり、さらに利用データの連携・ 利活用により、新たなサービスの創出等を実現しやすくなり、QOLが向上	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+177人） ②大阪府内で事業実施するスマートヘルス分野のスタートアップ数（+81社） ③治療・予防アプリ等によって健康づくりに取り組む府民の数（+371,220人） ④「デジタルヘルスマーケットプレイス」の閲覧数（+193,712PV）		
	関連URL	（スマートヘルスシティについて） https://www.pref.osaka.lg.jp/senryaku_kikaku/smarthealth/	

申請者	大阪府堺市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,680千円（14,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	女性をはじめとした多様な人材の活躍を図るとともに、希望する雇用形態や賃金で働いていない方が増収等を図り、各人が望む待遇で働く社会の実現をめざす。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	子育てや介護などでキャリアにブランクがあり、精力的な就職活動ができていない女性や希望せず非正規雇用で働いている方に対し、平日夜間帯等でも電話等で気軽に利用できるキャリアコンサルティングや独自に開拓した求人を活用した職業紹介等の就職支援を実施。 併せて企業へは上記職業紹介で活用する求人開拓等を通じた人材確保支援を実施。 委託料 14,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+5,100者） ②キャリアコンサルティング件数（+2,100件） ③求人開拓件数（+700件） ④企業商談件数（+510件） 関連URL https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/shisei/senryaku/75027220210402131206568.htm		

事業概要【観光アプリ等を活用した着地型商品普及のための地域活性化計画】

推進当初

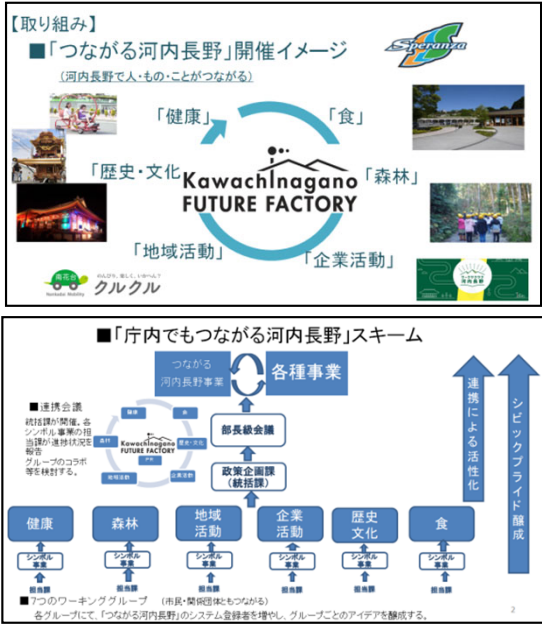
申請者	大阪府泉佐野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	106,896千円 (40,590千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・滞在時間の長期化を図り、市内の消費効果を促進する。 ・二次交通の充実化し、市内の観光周遊を促進する。 ・観光周遊プランの策定し、国内外からの誘客促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光アプリでの情報発信 (大阪観光局と連携) ・観光アプリでの商品の販売・アプリの運営 (委託料) 8,365千円 ・観光情報サイトの制作・運営 (委託料) 24,225千円 ○地域資源を活用したニューツーリズム商品の創出・流通 ・着地型観光商品の作成・販売 (委託料) 8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+30,155,300円) ②泉佐野市内の観光入込客数 (+1,043,050人) ③アプリ上での商品の販売売上額 (+175,812円) ④シェアサイクルの利用実績額 (478,064円)	関連URL	観光アプリ https://osaka-info.jp/discover-osaka/ シェアサイクル「PiPPA」 https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seikatsu/shoko/menu/os-hirase/7385.html

事業概要【産官学民連携によるオール河内長野の地域活性化事業】

推進当初

申請者	大阪府河内長野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,798千円 (22,118千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	河内長野市の様々な団体や個人が、河内長野市に対し愛着やほこりを感じ、様々な事業に主体的に参加し、行政とともに連携した地域活性化が進んでおり、それら関係者の「つながり」によるオール河内長野でのまちの魅力発信により、多くの関係人口が流入し、その結果、定住人口が増加し、若い世代が流入することで、人口バランスが健全化し、多様な住民が住み続けている豊かなまちの創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費	市民・事業者・関係団体・行政が一致団結して地域の発展を目指すため、「Kawachinagano FUTURE FACTORY」(以下、「KFF」という。)を組成し、分野ごとのワーキンググループを作るとともに、これらのグループを取りまとめるリーダー会を定期的開催。 要素事業 1 つながる河内長野推進にかかるKFF運営事業 ・つながる河内長野事業運営委託料 8,340千円 ・KFFオンラインコミュニティシステム開発・運営委託料 2,178千円 要素事業 2 つながる河内長野推進事業 ・市制70周年「つながる河内長野」推進事業委託料 6,500千円 ・「つながる河内長野万博」推進事業委託料 4,400千円 ・オンライン会議同時配信備品購入費 700千円		
KPI	①地域の人口・世帯数 (▲6,110人) ②KFFオンラインコミュニティ参加団体・参加者数 (+200者) ③つながる河内長野事業参加者 (+2,000人) ④KFF連携による事業開催数 (補助対象事業を除く) (+20回)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kawachinaga.no.lg.jp/soshiki/30/97820.html (効果検証) https://www.city.kawachinaga.no.lg.jp/soshiki/30/16911.html

※経費内訳はR6年度事業費



事業概要【「地域魅力Reブランディング」事業】

推進当初

申請者	大阪府門真市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,770千円 (17,634千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・戦略的なプロモーションにより、関係人口や交流人口の増加につなげる。 ・地域の歴史や文化を活かし、本市の個性や強みを引き出して、定住人口や関係人口の増加を促進する。 ・市外でのイベントを活かし、ヒト・モノ・情報を集結させ、他都市や世界とのつながりを深め、新たな価値創造を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「門真市ふるさと大使」の知名度や情報発信力を活かした、魅力PRや、市内小中学生を対象とした合唱指導や、公共施設等で使用するオリジナルのインフラ音源制作等 ・門真市ふるさと大使への報償費：50千円 ・門真市ふるさと大使への業務委託料：5,280千円 ・門真市ふるさと大使名刺代（印刷製本費）：2千円 ○民間企業等と連携した地域資源のパッケージ化による地域魅力の向上に向けた取組 ・イベント開催関係経費（委託料）：8,871千円 ・会計年度任用職員人件費（報酬・職員手当等）：3,431千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+250人） ②門真市公式SNSフォロワー数（+10,842人） ③門真市ふるさと大使による配信動画再生回数（+331,000回） ④門真市ふるさと納税寄附件数（+76,130件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.kadoma.osaka.jp/sos/hiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/24476.html

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【大阪魅力発信事業】

推進補正

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
	○	○

申請者	大阪府、大阪市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	200,000千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	万博を契機に、大阪府・大阪市とすべての府内市町村が連携して、国内外に向け、地域の観光や技術、産業、食文化などの市町村が持つ資源を効果的に発信していく。 その結果、府内各市町村の魅力を多くの方に感じていただくことで、万博後の未来も感じる都市大阪を実現し、人的交流の促進によって府域全体の成長につなげる。		
事業概要・主な経費	○大阪府・大阪市とすべての府内市町村が連携して、オール大阪で府内地域産業等の魅力を効果的に発信するための企画調整や情報発信を行う。 ・イベント企画・プロモーション費：149,166千円 （大阪市149,166千円） （取組）大阪府内市町村等の魅力発信に関する企画調整、多言語に対応したプロモーションツールの作成、海外メディアも含めた広報プロモーションの実施	 （提供：2025年日本国際博覧会協会）	
KPI	①地域における観光消費額（+7,500億円） ②地元産業のPR数（+110回） ③支援市町村数（+43市町村） ④来阪者満足度（+0%）	関連URL	調整中

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【デジタルを活用した五月山動物園ウォンバットゾーンの再整備事業】

拠点補正

申請者	大阪府池田市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,600千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市における主要な観光施設の一つである「五月山動物園」のウォンバットゾーンの再整備を行い、ウォンバット獣舎の屋内展示化により、夏冬でも滞在しやすい環境づくりを行うとともに、老若男女問わず楽しめるようウォンバットゾーン内のユニバーサルデザイン化を行うことにより、「ひと」を呼び込み、まちの賑わい、市内の回遊性の向上に繋げるとともに、市内の観光消費額を増加させる仕掛けづくりを行う。		
整備内容・利活用方策	五月山動物園のウォンバットゾーンにおいて、リニューアルにより生息環境を展示するとともに、希少動物であるウォンバットを中心としたグッズ販売、SNS等を活用した情報発信等を行い、来園者数の増加、市内における観光消費額の増加を図る。併せて、獣舎内に温度湿度センサーやAIカメラをはじめとする飼育環境のデジタル化を行い、ウォンバットを継続的・効率的に飼育ができる環境を構築する。 ・ウォンバットゾーン獣舎整備費：188,000千円 ・ウォンバットゾーン放飼場・園路整備費：168,300千円 ・デジタル関連施設整備工事費：15,000千円 ・展示コンテンツ実装費：28,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+9,500千円） ②動物園来園者数(市外)（+75,000人） ③ファン・サポーター数（+50人） ④動物園に30分以上滞在する人の割合（+5%）	関連URL	https://satsukiyamazoo.com/



拐点補正

38